

現在の会員数 一般会員 127 名 団体会員 3 団体 (令和 6 年 3 月現在)

講演会の報告 (第 49 回会員集会)

日時: 令和 7 年 10 月 25 日 (土) 13 時 30 分～15 時 30 分

場所: 日本水道会館会議室及び WEB (Zoom)

講演: 簡易水道の整備を振り返る

～関わった主要な人たちを中心に～

講師: 鈴木 繁 様



写真-1 講演中の鈴木様

元厚生省で宮城県の簡易水道指導を担当し、全国簡易水道協議会の賛助会員理事として 50 年史・60 周年記念誌の編集にも携わった鈴木様は、戦後から現代にいたるまでの簡易水道の整備の歴史について講演されました。GHQの指導による公衆衛生の考え方の定着、旧国立公衆衛生院での水道人材の育成、簡易水道補助制度の創設、全六編にわたる「水道ハンドブック」の発行、簡易水道設計指針の制作といった簡易水道の歩みを紹介。「簡水補助制度の生みの親」となった元厚生省環境衛生部長の楠本正康氏をはじめ、国、簡水協、府県庁のキーパーソンとなった人々のエピソードを軸に話されました。



写真-2 講演風景

フリー討議「なぜ管路更新が進まないか」

参加者: 日本ダクタイル鉄管協会技監 木村康則様

水を語る会: フジテコム 笹山太 幹事

日本水道協会 星野力 幹事



写真-3 フリー討議の様子

笹山幹事は話題提供として、管路工事の課題解決のために水道事業の日常業務と切り離れた管路工事専門の組織体制での実施を提案。木村様は案件形成と契約に紐づいた事業体の「実施計画」策定の重要性と、事業体職員の長期スパンでの技術継承の必要性を強調されました。また、工事にかかる苦情処理の現状や、鉄管協会で研究に取り組む管路 DB の効果や利点について情報共有が図られました。

定例幹事会の報告

日時: 令和 7 年 10 月 25 日 (土) 12 時～12 時 50 分

場所: 日本水道会館

議題: 次回以降の講演者テーマと演者について

編集後記

近年激甚化する地震、豪雨、寒波、猛暑といった自然災害や異常気象に加え、令和に入ってから新異感染症に熊害と毎年異なる危機への対応を迫られています。今年も想定外は起こり得るものとして備えたいと思います。(幹事 西田有輝)

◆新規入会をご希望の方は、事務局までご一報下さい。
詳しくはホームページをご覧ください。

→ <http://mizuwokatarukai.org/>